

私たちは忘れない！写真展開催しました「子どもたちの3・11ユニセフ東日本大震災報告写真展」



◆展示日程：10月2日（火）～6日（土）

◆来場者 2,300名

◆展示会場：東北電力グリーンプラザ アクアホール

昨年9月、東京国際フォーラムでの展示を皮切りに、ニューヨーク国連ビルでも展示された写真の数々。ユニセフだけでなく、国内報道各社、著名写真家の協力をいただいた写真展です。被災を乗り越えて生きる子どもたちの姿や、復興への希望を感じとっていただけたと思います。ご来場くださった方々の感想等は、HP「活動一覧」のコーナーに掲載していますので、ごらんください。

ユニセフ・写真パネル展

「貧しくも、明日に向かって生きる国」～アグネス・チャン大使が見た”幸せの国”ブータンの素顔と幸せの源～を、みやぎ生協の店舗でリレー展示します。

10月12日～17日<古川南店>、10月27日～31日<名取西店>、11月1日～5日<白石店>、11月8日～14日<加賀野店>

国民の97%が「幸せ」を感じていると言われる「国民総幸福」(GNH)政策のブータン。ぜひごらんください。



ユニカフェ(UNICafe)～気軽にユニセフ入門講座

開発途上国の子どもたちの状況と、ユニセフが行っている活動の様子をビデオ「ユニセフと地球のともだち」で紹介したあと、『ギニアの少年・ヤギンの手紙』を読みながら、本来持っている「子どもの権利」



についてみんなで意見を出し合いました。生きる権利や教育を受ける権利が守られていないことなど、心が痛くなるような現実を知りました。みんなで守ろう！未来を生きる子どもたちの権利を。

気仙沼市牧沢きぼう保育所、マザーズホームの開所式

10月10日、17日にそれぞれの施設の開所式が、菅原茂市長ご参加のもと、行われました。気仙沼港近くにあった旧両施設は津波で被災し、内陸部の福祉施設を間借りして運営してきましたが、日本ユニセフ協会が世界中からの支援金によって建設してきました。特に、障害児の通所になっているマザーズホームは、保護者にとっても必要なところ。新たにおかあさん活動室とクッキングルームも設け、交流する場所が確保されました。



ネパール・スタディツアーの報告会を各地で行っています

今年2月に視察したネパールの「地域主体の女性と子どものためのプログラム」について、ユニセフが行っている活動の成果をツアーに参加した千葉さえ子さん（ボランティア）と、千葉博恵さん（みやぎ生協理事）が県内各地で報告を行っています。一人ひとりの募金がとても大きな改善につながっていることを伝えています。